

## 韓日未来フォーラム 報告書

朝鮮大学校 外国語学部 2年 宋梨愛(송리애)

私はこの度、韓日未来フォーラムに初めて参加させていただきました。参加を決めたのは、Facebookの投稿を見て、討論内容に深く興味を持ったからです。

在日コリアン4世の私がこのフォーラムに参加しても良いのかと、当初は少し不安が大きかったのですが、日本と韓国のどちらの立場でもない、逆に言うとどちらの視点にも立つて考えることができる自分の参加は、とても意義があるのではないかと考えるようになりました。討論テーマの中には在日コリアン問題もあり、そこに参加するか悩みましたが、客観的に発表を聞いてみたいと感じ、「反日嫌韓」問題を選びました。

実際参加をしてみて、今回のフォーラムが私にとって大変価値あるものになりました。討論の場では、両国がこれまで触れることを避けてきた敏感な問題について、お互いを配慮しつつも言いたいことをしっかり発言することができました。

我がチームの討論内容を簡単に要約すると、反日嫌韓感情は若い我々世代にはほとんどなく、50・60代の高齢層に残っています。それは文化的な交流は盛んな現代にもかかわらず、過去の植民地問題や、未解決の慰安婦問題・領土問題等 歴史観の差から生じるのではないかと考えました。そしてこの問題は、メディアの影響で一層深刻化しているし、情報社会の現在では、オンライン上でも反日嫌韓感情が簡単に煽られてしまうという結果を生んでいます。そのため民間レベルでは、SNSを通して我々のような世代が積極的に親善的な発信をしていくべきだし、交流会やボランティアなどの活動も行うべきで、これらを必ず継続的に行うことが重要であるという結論に至りました。

そしてこの度、在日コリアン問題の発表を聴き、補足説明という形で発言をさせていただく機会を頂きました。日韓両国ともあまり知られていない在日コリアン。いくら日韓についての知識が多い参加者の皆様でも、これだけ在日コリアンについて知らないのだという現実を見て、少し悲しくなった半面、自分自身の活動がどれだけ周りに影響を与えるのかということ、その重要性について、身に染みて体感いたしました。

私は一人でも多くの方に在日コリアンの存在について知ってもらいたく、一語一句言葉に気を付けながら、在日コリアンの定義や歴史、現状についてお話させていただきました。植民地の悲しい歴史の産物である在日コリアンは、日本政府からも厄介な存在で、そんな彼ら彼女らが通う朝鮮学校への弾圧を行うことは当たり前のことだけど、政治の問題を教育の場に持ち出すのは間違っているし、本来ならばどの国の人でも異国での暮らしが保障されるべきなのに、マイノリティーを排除する社会はおかしいのではないかとことを主に発言いたしました。やはりフォーラムに参加するだけあって知識の量も多く、理解を示してくれる方々ばかりでとても話しやすかったです。発言の後も、個人的にお話を聞いてくださる方がとても多いことに驚かされましたし、このような日韓の親睦や在日コリア

ンへの理解をしてくださる方々と、もっと明るい未来や社会を作っていきたいと深く感じることができました。この発言の機会をいただくことで、日本でも韓国でも教育の場在日コリアンについて学ばないのだということを改めて知ることができ、どのような方法かをとって自分自身がこの現状を改善する必要があると感じました。

今回のフォーラムではメンバーとの交流がともしやすく、出会って三日とは思えない程仲が深まり、これからも良い関係を築いていけるという確信を持つことができました。この繋がりを大切に、お互いに刺激を与えられる存在になれば良いですし、今後もこのメンバーが率先して、日韓の未来に貢献していけたらと思います。

三日間、非常に密度の濃い時間を過ごせた反面、もう少し時間の余裕があり、討論を深められれば良かったという、惜しい気持ちも残りました。三日間でこれらの深刻な問題を、大学生である我々が解決まで持っていくということには限りがあるのが現状でした。しかし、この期間の我々の討論はもちろん、特別講義や参加者たちとの交友関係こそがとても重要で、今後の未来に繋がる一歩であると確信しました。また討論や発表、質疑応答を通じて、参加者の皆様が同じ大学生にもかかわらずとても意識が高く、問題をどのように捉えているのかという新しい視点を持つことができ、私自身沢山学ぶことができました。このような素敵なフォーラムに参加できたことを光栄に思うと共に、更なる学習を重ね、次の機会も是非韓日未来フォーラムに参加できることを楽しみにしております。

